

ぬながわ 奴奈川

東京奴奈川会会報

第6号

令和5年1月1日

発行責任者 小塚 保

編集責任者 野崎 肇

東京奴奈川会にお誘いください！！



東京奴奈川会会長 小塚 保

会員の皆様、ふる里奴奈川の皆様、お変わりなくお元気にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、私が令和2年に会長に就任以来、コロナ禍で、令和3年、令和4年と新年総会を開催出来ずに参りました。今年、令和5年度も状況ははっきりせず今の所、残念ですが未定となっております。会の歴史以来初めてです。ただ残念なことは会員の数が少なくなって来ており、総会もだんだん寂しくなって来ておることです。振り返りますと、昭和54年1月に東京奴奈川校友会が発足し、その後、平成5年の創立15周年を機に現在の東京奴奈川会と云う名称に改められました。当時、会員数は400名程おりましたが、時が経つにつれ減る様になり、創立30周年には260余名に、そして40周年100余名となり、今年度令和4年度は遂に84名となり

ました。激減です。

東京奴奈川会の会費は4000円となっておりますが、その内、3000円は東京松代会の分で、1000円が東京奴奈川会の会費となっております。従いまして現在各種の行事は東京松代会の企画の中で行っております。即ち、秋の日帰りバス旅行、ハイキング、趣味の会のゴルフ、カラオケなどがそうです。以前は東京奴奈川会の独自の訪問旅行をやっていたのですが、現在は前述した様に東京松代会の催しの中で行っております。

是非、東京奴奈川会の会員の方は勿論ですがこうした各種催し物に参加する様おすすめてしたいと思います。会員の減少は、高齢化による所で止むを得ない面もありますが、ただ東京松代会や東京奴奈川会そのものを知らない人達が大勢いるのも確かです。宣伝の足りない所もあると思います。是非知り合いの方や同級生の方などにお声掛けをして頂き1人でも多く加入していただける様お誘い下さいます様お願い申し上げます。

「まつだい棚田バンク」入会申し込み

◎申し込み・お支払方法

- ・オンラインで <https://tsumari.official.ec/>
- ・郵便振替で 口座番号 00550-4-57917

◎会費（送料が含まれます。）

- ①標準コース 150㎡ 46,200円(税込) 配当目安 精米 約30～40kg
- ②小口コース 30㎡ 13,200円(税込) 配当目安 精米 約7kg

【問い合わせ先】 まつだい棚田バンク事務局(NPO法人越後妻有里山協働機構内)

TEL 025-595-6180 (10:00～17:00、火曜・水曜休)

E-mail: tanada@tsumari-artfield.com

東京奴奈川会役員組織図 (2022年9月現在)



会計報告

令和3年東京奴奈川会決算報告書
(自令和3年4月1日～令和4年3月31日)

令和4年東京奴奈川会予算
(自令和4年4月1日～令和5年3月31日)

【一般会計】

項目	決算額	収入の部		
		人数	会費	金額
1 前期繰越金	515,994			
2 会費	97,000	一般 97	1,000	97,000
3 運営協力金	243,000			
4 地区運営費補助	20,000			
6 手数料補助	0			
7 その他雑収入	5	利子		
合計	875,999			

項目	決算額	支出の部		
		人数	会費	金額
1 会議費	0			役員会会場費等(0回)
2 通信印刷費	16,151			役員会連絡、総会案内出欠ハガキ、切手代等
3 事務用品費	4,524			コピー代等、プリンターインク他
4 事業助成費	0			
5 事業費	11,000			ホームページ運営管理費
6 渉外費 (1) 郷里 (2) 友誼関係	30,000			県人会会費・県人会広告
7 寄付金	0			
8 慶弔費	13,620			
9 支払手数料	0			
10 雑費	0			
11 次期繰越金	800,704			
合計	875,999			

【ぬながわ基金】

前期繰越金 300,000

上記の通りご報告申し上げます。

令和4年3月31日

会計委員長 高橋 一也

以上の決算書を監査の結果適正であることを認めます。

会計監査 村山 彦市

令和4年度会費内訳

会費総額	内訳	
	松代会会費 (3,000円×96名)	奴奈川会会費
384,000	288,000	96,000
	明細は下記予算書の「収入の部」に記載	

【一般会計】

項目	予算額	収入の部		
		人数	会費	金額
1 前期繰越金	800,704			
2 会費	96,000	一般 96	1,000	96,000
3 運営協力金	150,000			
4 地区運営費補助	20,000			
6 手数料補助	20,000			
7 その他雑収入	0			
合計	1,086,704			

項目	予算額	支出の部		
		人数	会費	金額
1 会議費	11,380			役員会会場費等(5,690×2回)
2 通信印刷費	35,000			役員会連絡他、総会案内出欠ハガキ印刷他、
3 事務用品費	15,000			プリンターインク代・コピー・その他
4 事業助成費	0			総会・懇親会補助
5 事業費	20,000			ホームページ
6 渉外費 (1) 郷里 (2) 友誼関係	100,000			お盆・里帰リ等 贈り会
7 旅費交通費	0			
8 慶弔費	30,000			傘寿お祝い等
9 支払手数料	20,000			ゆうちょ銀行振込手数料(会費入金分)他
10 雑費	10,000			
11 次期繰越金	845,324			
合計	1,086,704			

【ぬながわ基金】

前期繰越金 300,000

上記の通り予算案を提出致します。

令和4年4月1日

会計委員長 高橋 一也

2022山菜の旅

幹事長 五十嵐 正（竹所・大上）

5月7日早朝、船橋を出発時は予報通りの土砂降りの雨に一抹の不安で有ったが関越道埼玉県を過ぎる頃には雨もあがり、群馬の山並みは青空に新緑が輝いてくれた。

十日町で信濃川を渡れば我が故郷は近い。幼い頃、山越えを深い雪に阻まれ孤立していた松代町（奴奈川地区）をトンネルが貫き便利に成った。豪雪と聞いた今冬だったが雪解けは早く進んだようだ。

テレビ放映ですっかり認知度向上の我が村（竹所）を通り廃村と成った濁にてA氏と落ち合う。新調した登山用長靴と山菜様に改良したザックで山に入る。村や棚田の様子は変わってしまったが背景の山々は臉に焼き付いているから足どりは嬉しい、スマレにカゴ花、緑の葉に鮮やかな赤い椿、竹の子も出始めている……。小川を越えて枯れ草に足元を取られながらもウドの崖にたどり着く。

何としても山菜の大様、ウドを根元から丁寧に採取、持参した特性味噌をちょいす生の味はこの場で無ければ味わえない珍味である。これから始まる山菜パーティ（天ぷら）の食材をザックに数種類、野菜取は終了（今日、食べる分だけ）……。

14～15歳の生意気盛りな頃には好奇心で家から一升酒を持ち出して何人かで連れ立って冬の城山に冒険キャンプに来た思い出満載の庭山である。ここに当時の仲間全員が揃うのは、二度と叶わない（二人が若くして逝った）が掛け替えのない青春時代其のものである。

ここで数十年、春に山菜パーティをかさねて来た（何人かのゲストを招いて）今年は、その青春時代のA氏と私の家族6人である

ウド、コゴミ、タラの芽、アケビの芽、フキノトウ、ヨモギ、うりっぱ、根曲がり竹の子、等々、里の春は実に命の浄化である。盛り上がった頃に山菜取りであろうザックを背負ったご老体が下山して来た。

おまんた、どこんしょだい？水を一杯くんねかいの？……訪ねれば早朝、浦田から山にはいり道に迷い、ようやく我々に合ったとの事、食う物も水も無く、もう歩けんから村まで送って欲しいとの事、（これって遭難……一人暮らして山に入る事、知る者、誰もいない？）。

昔、深林で方向を失いさ迷った事があるが、準備のない山歩きの危険を思わせるハプニングで有った。Aが快く車で送り届けた。心踊る春のイベントを此の後、何度訪れる事が出来るだろう……そんな年齢を重ねて思いもひとしおである。

山を下って松代の宿には早いので今年は黒姫山を越え日本海側へ私の妻、が3歳まで育ったと云う鯨波を家族で訪ねた。本人は、ほぼ記憶に無く北海道育ちとして居るが良い機会として皆でこの地を訪ねるのは無論、初めてで、穏やかな海を背に見上げれば残雪の米山さん（名山）が祝福してくれてる様だ。

今宵は日本海の鮮魚に地酒での夕飯と思いつき柏崎での晚餐はラッキーに、美味しいお店に出会う事が出来た。



同郷の友人と故郷の山にて



野菜天ぷら

事業計画

新型コロナウイルスの終息状況、新しい生活様式により柔軟に各郷人会とも協調しながら進めて行くとの方針です。

今年はコロナ禍でも会員の皆様、ふる里の皆様との交流を安全に配慮した新しい形で実現したいと考えております。

新潟県人会館も完成され3年たちます、その運用方法も踏まえて会員の皆様との集いが早い時期に実現出来るよう役員一同、連絡を密に進めてまいります。

令和5年が明るい年で有ります様、皆様ご自愛頂き良い年であります様御祈願申し上げますと共に新しい会員のお誘いも宜しく願いいたします。

お知らせ

例年行われております「東京奴奈川会総会・懇親会」は、新型コロナウイルス感染により、4月開催は取りあえず中止とさせていただきます。今後につきましては、感染の終息状況を見極めて、あらためてご報告、ご連絡いたします。

☆新企画 「ふる里 山菜パーティー」

新しい試みとして、今年度6月に、テレビ等にカール・ベクスさんの古民家再生で話題となっている「新潟県十日町市 竹所」にて、山菜パーティーを企画しております。

詳細については、別紙の案内をご覧ください。

訃報

長い間、会の役員としてご尽力ご活躍された小塚秀男様が令和4年2月に、山岸茂勝様が同年7月2日にご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに心から哀悼の意を表します。

編集後記

広報委員長 野崎 肇

昨年はいろいろなことが起きました。年明け早々、新型コロナは「まん延防止措置」となり、さらにオミクロン株、第7波、第8波迄になりました。2月に「北京オリンピック・パラリンピック」で雪国 新潟県村上市出身の平野歩夢選手のスキーボード・ハーフパイプの金メダル等、日本選手の活躍で世の中が、久し振りに明るい話題で盛り上がったかと思った直後、ヨーロッパでは大国の軍事的侵略(戦争?)が勃発し、再び世界は暗いニュースで緊張感が続いた年でした。

外国ではそろそろ「マスク」を外した新しい生活様式が標準となってきました。そろそろ日本も「マスク」を外して、「自粛」モードに終止符を打って、今まで我慢してきた「人との交流」に戻していくようにしなければならないと思います。